

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	感染症予防事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎								
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 窪田 恵子								
	基本事業	45	地域医療体制の充実	所属班	健康推進班	(内線) 2167								
予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	2	事業連番	10380	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)														
【事業の内容】集団及び個別予防接種の実施、感染症予防の普及啓発														
【業務の流れ】 年度当初に医療機関と契約。予防票作成。ワクチン購入・管理。 集団接種(ポリオ・BCG・二種混合)個別予防接種(三種混合・MR・麻しん・風しん・日本脳炎)の実施。10月～インフルエンザ予防接種の実施。 健康づくり事業計画表・広報・健診・家庭訪問等で周知。接種台帳管理、電算入力。 【主な予算費目】 賃金、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費・印刷製本費・医薬材料費)、役員費、委託料、負担金補助及び交付金(補助金)														

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
 集団接種(BCG・ポリオ・二種混合)
 個別接種(三種混合・MR・麻しん・風しん・日脳・インフルエンザ)の実施
 広報で予防接種動員について周知

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
 20年度と同様

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 種類
 → ア 市が補助をした予防接種の数

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
 乳幼児・小学6年生(二混)・中学1年生(MR)・高校3年生(MR)
 インフルエンザに関しては、3歳以上の市民

⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人
 → ア 予防接種の対象者数

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
 感染症を予防することができる

⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人
 → ア 接種した人の数

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
 適切な治療を受けられる

⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 件
 → ア 人口あたりの医療機関数、病床数
 イ 人口あたりの医師数

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	61,364	71,831	71,500	87,848	91,402	91,402	91,402	
	(A) 事業費計	千円	61,364	71,831	71,500	87,848	91,402	91,402	91,402	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人			10	10	10	10	
	延べ業務時間	時間			1,750	1,760	1,760	1,760		
	(B)人件費計	千円	0	0	0	6,965	7,005	7,005	7,005	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	61,364	71,831	71,500	94,813	98,407	98,407	98,407	
活動指標	種類		7	7	7	7	7	7	7	目 標 計 画 値 画 22 年 度
対象指標	人		52676	53610	54175	54175	54525	54600	54600	
成果指標	人		23936	27856	28000	31649	32000	32000	32000	
上位成果指標	件 人		8.8 417.7 18.8	7.2 424.4 17.2	6.8 421.2 16.8	6.8 421.2 16.8	8.7 402.7 18.3	8.6 398.3 18.1		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 予防接種法により定期予防接種を開始

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 【BCG】接種方法:ツ反の2日後、判定しBCG接種 対象者:生後3月から4歳未満→平成17年4月～ 接種方法:BCG直接接種 対象者:生後3～6月未満
 【日本脳炎】平成17年5月～ 重症の副反応とワクチンの因果関係が否定できないため、接種動員の差し控えとなる
 【MR(麻しん・風しん混合)】それぞれ単独のワクチンを1歳から7歳6月未満に1回接種→平成18年4月～麻しん・風しん混合ワクチンを1歳～2歳未満に1回接種、
 就学前1年間に1回接種。平成20年4月～中学1年生、高校3年生の追加接種が始まる。(5年間の制度)
 【インフルエンザ】旧西合志では65歳以上の市民は市が3,100円の補助→合併後2,100円の補助となる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 65歳以上の人からインフルエンザ予防接種を「今までは無料で受けられたのに」との苦情が多数あった。医療機関からもインフルエンザの自己負担について「65歳以上の接種料金をとることで、接種者数が減る。減ると今度は医療費が上がるんじゃないのか」との意見もあった。
 「合志市はインフルエンザの予防接種の補助があるからいいですね」と若い世代の方の意見もある。

事務事業名	感染症予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「感染症を予防することができる」ことにより、疾病の予防措置ができ、健康的な生活を送ることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 予防接種法で定めてあり、予防接種を行い感染症を予防することで、医療費削減にもつながるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 定期の予防接種については、接種率100%に近づけていく必要があるため、健診などで接種勧奨をしていく。また、健診等で会う機会のないMR2期・3期・4期に関しては個別通知を行い、接種勧奨につとめる。BCGの接種方法も検討していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 予防接種法にて定めてあるため、廃止できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似した事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 他市町と比較をしたが、接種料金は適正である。また、個人負担金を増やすことにより接種率が下がり、感染症が蔓延する可能性がある。そのことで医療費の上昇につながる可能性があり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 予防接種の過誤があってはならないため、必要不可欠の人数で接種を実施している。また、個別接種より集団接種で行ったほうが事業費自体は抑えることができ、接種率の向上にもつながる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 乳幼児・学童の定期予防接種については無料で、インフルエンザについては一部負担がある。一部負担については、近隣市町と足並みを揃えているので公平と考える。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、定期の予防接種について、接種率100%に近づけていく必要があるため、健診などで接種勧奨をしていく。また、健診等で会う機会のないMR2期・3期・4期に関しては個別通知を行い、接種勧奨に勤める。BCGの接種方法も検討していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 定期の予防接種接種率を100%に近づけることにより、接種料金は増加する。しかし、予防接種を実施することで感染症の予防につながり、医療費の削減につながる。 BCGについては集団接種で月1回実施しているが、接種年齢が生後3~6月と短期間のため接種機会が限られている。接種機会の拡大等を考えると個別接種を検討していく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 BCGの個別接種については、集団接種に比較し料金が增大するとともに、接種していただく医師の確保等が必要になる。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)